

令和5年度採用 中学校専門 美術

志願種別	
受験番号	

【11】 下の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 A 表現」に示されているものである。文中の空欄（a）～（d）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

(1) 表現の活動を通して、次のとおり（ a ）に関する資質・能力を育成する。

ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、
（ a ）に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(7) （ b ）を深く見詰め感じ取ったことや（ c ）、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、（ d ）などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--------------|-----------|
| ① | a 発想や構想
d 形体や色彩，構成 | b 対象や事象 | c 形や色彩の特徴 |
| ② | a 思考力，判断力，表現力等
d 単純化や省略，強調，材料の組合せ | b 自然や自己，生活など | c 形や色彩の特徴 |
| ③ | a 思考力，判断力，表現力等
d 単純化や省略，強調，材料の組合せ | b 自然や自己，生活など | c 考えたこと |
| ④ | a 思考力，判断力，表現力等
d 形体や色彩，構成 | b 対象や事象 | c 考えたこと |
| ⑤ | a 発想や構想
d 単純化や省略，強調，材料の組合せ | b 対象や事象 | c 考えたこと |

【12】 下の①～⑤の文章のうち、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(1) ア [共通事項] のアの指導に当たっては、造形の要素などに着目して、次の事項を実感的に理解できるようにすること。」に示されていないものを一つ選べ。

- ① 色彩の色味や明るさ、鮮やかさを捉えること。
- ② 材料の性質や質感を捉えること。
- ③ 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや楽しさ、寂しさなどを捉えること。
- ④ 形や色彩などの組合せによる構成の美しさを捉えること。
- ⑤ 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉えること。

【13】 下のア～オの文章は、描画材料についての説明である。正しく述べた文の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ

- ア パステルは、顔料を成形剤で棒状に固めた描画材である。色数が豊富で色彩が美しい。膠を加えて硬くしたハードパステルと、固着力の弱いソフトパステルがある。
- イ コンテは、黒や茶褐色の天然顔料を粘土や結合剤と混ぜて成形した画材である。ソフトパステルよりも柔らかく定着性もよい。
- ウ 木炭は、木を焼いた炭を画材にしたものである。柔らかくもろいが黒色が美しい。消し具には食パンや練りゴムを使う。
- エ ボールペンは、先端に取り付けられた金属製などのボールが回転し中のインクを紙面に運ぶ。水性、油性、染料系、顔料系、ゲルインキなど様々な種類がある。
- オ マーキングペンは、ペン先にフェルトや合成繊維などを使用し、内蔵のインクが毛細管現象によって染み出て描けるように工夫されている。

① ア, イ, エ

② ア, ウ, オ

③ イ, ウ, エ

④ イ, ウ, オ

⑤ ウ, エ, オ

- 【14】 下のA～Eは、作家の自画像である。それぞれの作品と作家名の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- | | | | |
|---|-----------------|------------|---------|
| ① | A アルベルト・ジャコメッティ | B アンリ・ルソー | C 萬 鉄五郎 |
| | D アンリ・マティス | E 松田 正平 | |
| ② | A アルベルト・ジャコメッティ | B アンリ・ルソー | C 東山 魁夷 |
| | D アンリ・マティス | E 松田 正平 | |
| ③ | A アルブレヒト・デューラー | B アンリ・マティス | C 東山 魁夷 |
| | D アンリ・ルソー | E 松田 正平 | |
| ④ | A アルブレヒト・デューラー | B アンリ・ルソー | C 東山 魁夷 |
| | D アンリ・マティス | E 松本 峻介 | |
| ⑤ | A アルブレヒト・デューラー | B アンリ・マティス | C 萬 鉄五郎 |
| | D アンリ・ルソー | E 松本 峻介 | |

- 【15】 下の文章は、「木の種類と特徴」や「木の加工」について説明したものである。文中の空欄（A）～（E）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

<木の種類と特徴>

堅い ↑ ↓ 柔らかい	（ A ）	広葉樹。浮世絵の版木や和菓子の木型に使用される。
	ホオ	広葉樹。版画の版木、木彫など幅広い用途で使われる。
	（ B ）	広葉樹。鎌倉彫で使うことが多い。
	スギ	針葉樹。柱や床板、樽、曲げわっぱなどに使われる。

<木の加工>

- ・ 小刀で削る際は、（ C ）を持っているほうの手の親指で力の加減をしながら、ゆっくり刃を押し出すようにして削る。
- ・ 両刃のこぎりで切る際、木目に沿って切るときは、（ D ）の刃のほうを使い、木目を断ち切るように切るときは、（ E ）の刃のほうを使う。

- ① A カツラ B ヤマザクラ C 材料 D 縦引き E 横引き
- ② A カツラ B ヤマザクラ C 小刀 D 横引き E 縦引き
- ③ A ヤマザクラ B カツラ C 小刀 D 横引き E 縦引き
- ④ A ヤマザクラ B カツラ C 材料 D 縦引き E 横引き
- ⑤ A ヤマザクラ B カツラ C 小刀 D 縦引き E 横引き

【16】 下の文章は、第二次世界大戦以降の美術について説明したものである。文中の空欄 (A) ～ (E) に当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

1960年代後半、美術を美術として成立させるものは何かという考えのもと、平面か立体かを問わず用いる色彩や形体の種類を極力少なくしたミニマル・アートと呼ばれる美術表現が生まれた。代表的な作家として、ドナルド・ジャッドや (A) が挙げられる。

また、従来の展覧会的な美術ではなく、場所や環境に働きかけ、自然の中に表現を見出す芸術として、アース・ワーク (ランド・アート) も生まれた。作家としてはロバート・スミッソン、リチャード・ロングなどが挙げられる。一方、 (B) は、都市の建物や橋などをシートで丸ごと包み込むなど、見慣れた建物や風景の様相を一変させる表現を行った。

彫刻では、古代彫刻の影響を受け、素朴で強じんな独自のスタイルで騎馬像などを制作した (C)、イタリア・ルネサンスの伝統に学び、洗練されたフォルムと微妙な肉付けで人物像を制作した (D)、骨や石などの自然物、原始彫刻などから示唆を受け、情感豊かで抽象性の強い人体彫刻を数多く制作した (E) などが彫刻の代表として挙げられる。

- | | | | |
|---|---------------------------|--------------------------------|-------------|
| ① | A ヘンリー・ムーア
D マリノ・マリーニ | B クリストとジャンヌ＝クロード
E フランク・ステラ | C ジャコモ・マンズー |
| ② | A フランク・ステラ
D マリノ・マリーニ | B アンディ・ウォーホル
E ヘンリー・ムーア | C ジャコモ・マンズー |
| ③ | A ヘンリー・ムーア
D ジャコモ・マンズー | B クリストとジャンヌ＝クロード
E フランク・ステラ | C マリノ・マリーニ |
| ④ | A フランク・ステラ
D ジャコモ・マンズー | B クリストとジャンヌ＝クロード
E ヘンリー・ムーア | C マリノ・マリーニ |
| ⑤ | A ヘンリー・ムーア
D ジャコモ・マンズー | B アンディ・ウォーホル
E フランク・ステラ | C マリノ・マリーニ |

【17】 下の文章ア～エは、木材の主な加工法を説明したものである。ア～エの文章と木材の加工法の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 板材を組み合わせて構造物をつくる。

イ 木の塊を鋭い手斧や鑿（のみ）で彫る。

ウ 旋盤やろくろなどの回転を利用して挽き、成形する。

エ 蒸気などで水分と熱を加え、治具を使い成形する。

- | | | | | |
|---|------|------|------|------|
| ① | ア 指物 | イ 刳物 | ウ 挽物 | エ 曲物 |
| ② | ア 刳物 | イ 指物 | ウ 挽物 | エ 曲物 |
| ③ | ア 挽物 | イ 刳物 | ウ 曲物 | エ 指物 |
| ④ | ア 指物 | イ 挽物 | ウ 曲物 | エ 刳物 |
| ⑤ | ア 刳物 | イ 曲物 | ウ 挽物 | エ 指物 |

【18】 焼き物の制作の工程として正しく並べたものを下の①～⑤の中から一つ選べ。

① 採土 → 土練り → 成形 → 加飾 → 乾燥 → 施釉 → 素焼き → 焼成（本焼き）

② 採土 → 成形 → 土練り → 加飾 → 乾燥 → 施釉 → 素焼き → 焼成（本焼き）

③ 採土 → 成形 → 土練り → 乾燥 → 加飾 → 素焼き → 施釉 → 焼成（本焼き）

④ 採土 → 土練り → 成形 → 加飾 → 乾燥 → 素焼き → 施釉 → 焼成（本焼き）

⑤ 採土 → 土練り → 成形 → 乾燥 → 加飾 → 施釉 → 素焼き → 焼成（本焼き）

【19】 下の文章は、写真の基礎について説明したものである。文中の空欄（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ・絞りは、ピントの合う奥行き（被写界深度）や光の量を調節する機能のことである。絞り値（F値）を（ア）と被写界深度は浅く、取り込まれる光の量は多くなる。
- ・シャッタースピードは、シャッターを開け閉めする速度のことで、動いているものの一瞬を捉えたい場合はシャッタースピードを（イ）に、ブレやスピード感を表わしたいときにはシャッタースピードを（ウ）にする。
- ・レンズなどを通してカメラの中に届く光の量により写真写りは異なる。絞りとシャッタースピードを調節して適正な（エ）を決める。

- | | | | | |
|---|---------|------|------|----------|
| ① | ア 大きくする | イ 高速 | ウ 低速 | エ 露出 |
| ② | ア 小さくする | イ 高速 | ウ 低速 | エ 露出 |
| ③ | ア 大きくする | イ 低速 | ウ 高速 | エ 露出 |
| ④ | ア 小さくする | イ 低速 | ウ 高速 | エ ファインダー |
| ⑤ | ア 大きくする | イ 低速 | ウ 高速 | エ ファインダー |

【20】 下のア～エは、18世紀～20世紀の日本の作家の作品である。ア～エを古いものから制作年順に並べたとき、正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 神奈川沖浪裏

イ 動植綵絵軍鶏図

ウ 鮭

エ 序の舞

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① ア → イ → ウ → エ
- ② イ → ア → ウ → エ
- ③ ア → エ → イ → ウ
- ④ イ → ア → エ → ウ
- ⑤ エ → イ → ア → ウ

【21】 下のA～Dの文章は、近代の西洋美術における様式について説明したものである。A～Dの文章と名称の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- A 精神分析科医ジグムント・フロイトの深層心理学に強い影響を受けたアンドレ・ブルトンの宣言によって興った運動である。文学、美術など広い範囲に影響を及ぼした。精神の解放を目指し心の奥底にある無意識の世界を表現しようとしたものである。代表的な作家に、マックス・エルンストらが挙げられる。
- B 20世紀初期に展開された、色彩の再現的描写にとらわれず、直接感覚に訴える表現をした色彩の革命とも言える運動である。モーリス・ド・ヴラマンクらの鮮やかな原色を用いた配色、激しい筆触による表現が特徴である。
- C 19世紀末から20世紀初頭にかけて、文学、音楽、美術において自然主義やリアリズムに対し、内面的な観念を暗示しようとして展開された芸術運動である。美術ではゴーギャンを中心に集まったグループ（ポン＝タヴァン派）、ゴーギャンに強い影響を受けた画家たちがパリで結成したグループ（ナビ派）に神秘的な主題の作品があるほか、神秘的な主題を扱い、宗教的、詩的な表現を試みた世紀末の表現も含まれる。
- D 自然の姿や形を再現せず、純粋に色彩や形体などの造形要素だけで作品を構成する美術で、19世紀末以来、追究されてきた表現の一つの結論として興った美術運動であり、ヨーロッパ各国で多様に展開した。1910年頃にヴァシリー・カンディンスキーが意図的に作品を制作したのが最初とされる。

- | | | | | |
|---|------------|-----------|--------|--------|
| ① | A ダダイズム | B 後期印象派 | C 抽象主義 | D 象徴主義 |
| ② | A シュルレアリスム | B フォーヴィスム | C 抽象主義 | D 象徴主義 |
| ③ | A ダダイズム | B 後期印象派 | C 象徴主義 | D 抽象主義 |
| ④ | A シュルレアリスム | B 後期印象派 | C 象徴主義 | D 抽象主義 |
| ⑤ | A シュルレアリスム | B フォーヴィスム | C 象徴主義 | D 抽象主義 |

【22】 下のア～エは、岐阜県美術館が所蔵する作品である。ア～エの作品とA～Dの作家名の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 空

イ 人よ（Ⅱ）

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ウ 深林宿雪

エ 重厚円大蛙

A 天野裕夫

B 加藤栄三

C 川合玉堂

D 篠田桃紅

① ア-D イ-B ウ-C エ-A

② ア-B イ-D ウ-C エ-A

③ ア-D イ-B ウ-A エ-C

④ ア-B イ-C ウ-D エ-A

⑤ ア-A イ-C ウ-B エ-D

【23】 下のア～エは、岐阜県にゆかりのある作家の工芸作品である。ア～エの作品とA～Eの作家名の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア ラスター彩花鳥文花生

イ 紋紗着物「桃花源」

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ウ 塔

エ 志野茶碗 銘早春

A 土屋順紀

B 荒川豊蔵

C 各務鏝三

D 山田光

E 加藤卓男

① アーE イーD ウーA エーC

② アーE イーA ウーD エーB

③ アーC イーD ウーA エーB

④ アーC イーB ウーD エーE

⑤ アーB イーA ウーC エーE

- 【24】 下のア～エは、和の文様である。ア～エの文様とA～Eの文様の説明の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- A 竹籠の編目の形。
- B 子鹿の背中の白い斑点に似ている。
- C 紗綾という絹織物の文様に由来。
- D 万物を潤す雷雨を表した吉祥文様。
- E 龍や蛇の鱗に似る。

- ① アーC イーD ウーA エーE
- ② アーD イーA ウーC エーE
- ③ アーD イーA ウーC エーB
- ④ アーE イーD ウーA エーB
- ⑤ アーE イーD ウーC エーB

【25】 下のア～エは投影図や透視図を使った構成をしている。ア～エのそれぞれの図に生かされている投影図や透視図の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| ① ア 斜投影 | イ 一点透視 | ウ 二点透視 | エ 等角投影 |
| ② ア 二点透視 | イ 等角投影 | ウ 斜投影 | エ 一点透視 |
| ③ ア 一点透視 | イ 等角投影 | ウ 斜投影 | エ 二点透視 |
| ④ ア 等角投影 | イ 二点透視 | ウ 斜投影 | エ 一点透視 |
| ⑤ ア 一点透視 | イ 斜投影 | ウ 等角投影 | エ 二点透視 |

令和5年度採用 解答表（中学校・美術）

問題	【11】	【12】	【13】	【14】	【15】	【16】	【17】
正解	⑤	⑤	⑤	④	④	④	①

問題	【18】	【19】	【20】	【21】	【22】	【23】	【24】
正解	④	②	②	⑤	②	②	④

問題	【25】
正解	②